

人は、無限のエネルギー。

# 出光昭和シェル

2019年4月1日

記者各位

出光興産株式会社  
昭和シェル石油株式会社

## 2019年度合同入社式における挨拶について

**出光興産株式会社および昭和シェル石油株式会社(トレードネーム:出光昭和シェル)は、本日午前11時より都内会場で合同入社式を開催いたしました。**

**出光興産株式会社 代表取締役社長 木藤 俊一による新入社員へのメッセージは以下の通りです。**

### 1. はじめに

皆さん、入社おめでとうございます。会社を代表して心よりお祝い申し上げます。そして、皆さんの入社を心から歓迎いたします。

本日、出光興産、昭和シェル石油は経営統合し、「出光昭和シェル」が誕生しました。売上高は約6兆円、従業員数は1万3千人、燃料油、基礎化学品という石油会社としての基盤事業群のほか、高機能材、電力・再生可能エネルギー、資源といった幅広い事業を展開します。

### 2. 経営統合について

出光興産、昭和シェル石油は共に100年以上の歴史を持つ会社です。エネルギー企業として日本のエネルギーセキュリティを支え、国民のライフラインを守り続けてきました。近年、日本各地で地震、台風等、多くの災害が発生していますが、例えば、昨年9月の北海道胆振東部地震では、全道が停電した時に真っ先に頼られたのは石油業界でした。停電でまだ信号機が動いていない中、特約店、販売店、物流会社等の協力を得て、病院などの施設の非常用電源を動かすための燃料を届けました。経営統合後も、日本のエネルギーセキュリティを支え、国民の生活を守り抜くことが我々の使命であることに変わりはなく、皆さんもその一員になることを肝に銘じてください。

また、ここ10年来、我々はシンガポールやベトナム、オーストラリア東海岸、アメリカ西海岸といった環太平洋地域でも石油販売を行っており、その数量は既に国内燃料油販売の約40%程度に達しています。今こうしている間にも、皆さんの先輩たちが、異なる国籍を持つパートナーの価値観を受け入れ、仕事の進め方の違いを乗り越え、それぞれの国の発展や人々の生活を支えようと日々奮闘しています。もはや我々は日本だけではなく、世界のエネルギー供給の一端を支える会社となっています。

次に、なぜ経営統合が必要であったか？その理由を皆さんにお伝えしたいと思います。一点目は、基盤事業の競争力強化です。

国内の石油製品需要の減退をはじめとした構造的な課題が山積している中、両社それぞれの強みを持ち寄り、経営資源を結集することにより一社ではできないシナジーを最大化し、屈指の競争力を持つ企業体となること、と同時に安定した国内石油市場の構築により、収益基盤の安定化を図ることです。全国をカバーする7つの製油所と、津々浦々にある物流会社、特約店・販売店、6,500のサービスステーションからなるバリューチェーンを維持、強化し、エネルギーの安定供給という社会的使命を果たしていきます。

二点目は、企業としての成長機会を掴んでいくことです。

従来の化石燃料主体の事業から、再生可能エネルギーや高機能材をはじめとした成長分野、また、海外の成長市場における事業拡大を中心としたポートフォリオの組み替えを進め、将来に亘って隆々とした企業グループであり続けることができるよう、両社の強みを持ち寄り、成長戦略を展開することのできる、より大きな企業体となっていくことです。

### 3. 我々が大切にしていること

そして、経営統合を決断するに当たって私たちが最もこだわったのは、「価値観を共有化できるかどうか」ということでした。

一般的には、企業は事業を成功させ、収益を最大化することを目的に人を育成することが大事であると考えられています。しかし、我々は違います。我々の経営目的は、仕事を通じて人を育成することにあります。極論すれば、事業はそのための手段だと言えます。年齢、性別、国籍等を問わず、それぞれが持つ個性を活かし、多様性を受け入れ、能力を最大限に発揮する、そのような人を育成することを何よりも大切にしてきました。「人の力」の可能性を信じるというこの価値観を共有化できるからこそ、お互いを、パートナーとして選び、経営統合を決断できたのです。これが統合新会社の価値を最大化する上で、最も重要なことです。

皆さんは、経営統合後の栄えある一期生です。新社のスローガンは「人は、無限のエネルギー。」です。このスローガンには、一人ひとりが、自らの能力に限界を設けず、それぞれが持つ能力を最大限に発揮し、組織全体のチーム力を高め、社会発展に貢献する。そのことを通じて自らの人生をより豊かなものにしていく。そんな想いが込められています。

我々はこれからも「人の力」を最大の財産、強みとしていきます。この先どんな時代が来ようとも、人がしっかりしてさえいれば、様々な困難に立ち向かい、それを乗り越え、新たなことに挑戦し、将来に亘ってレジリエントな企業グループであり続けることができると私は信じています。レジリエントな企業とは、どんな環境・変化にも打ち勝つことができるしなやかで強い力を持つ企業を意味します。

20年後は皆さんが会社の中心です。将来に向けての舵取りは、今の経営陣がしっかり考え、研究し、さまざまな布石を打っていきます。皆さんが活躍する場も従来の範囲にとどまらず、更に拡大していきます。皆さんは第一期生としての誇りを持ち、失敗を恐れず、目の前にある仕事に全力で取り組み、困難な課題にも果敢に挑戦しながら、どこでも活躍できる力を身につけていってください。

### 4. 皆さんに贈る言葉

最後に、皆さんに言葉を贈りたいと思います。

孔子による論語の一説で「知・好・楽」という言葉です。知る、好き、楽しい、の頭文字の漢字です。この意味を仕事に当てはめれば、「仕事を知っていること即ち知識をもっていることは素晴らしいことだが、好きだと思ってやっている人には勝てない、更に楽しんでいる人にはとてもかなわない」、ということになります。

皆さんはこれから新入社員教育や実習などを経てそれぞれの職場へ配属されます。新入社員である皆さんは、すぐに自分の希望する職場に配属されるとは限りません。どのような仕事であっても、まずは主体的に取り組み、その仕事を知り、好きになってください。それには、周囲の先輩や上司のアドバイスを受けながら、楽しく仕事ができるように努めることです。机上の勉強も大切ですが、先輩について現場で、実践で学ぶことが一番です。目の前の仕事に真摯に取り組み、基本を身につけ、課題を達成できた人は、次のステップに進み、さらに成長することができます。このように「自己実現」していくことで、仕事を楽しみながら、社会へも貢献していくことができくるのです。

我々の会社には、社員一人ひとりが生き活きと働き、自由闊達に何でも言い合い、互いに切磋琢磨しながら成長できる風土があります。皆さんは、これから仕事をしていく上で思い悩むこともあると思いますが、一人で抱え込まず、周囲に相談してみてください。最初はできなくて当たり前です。皆さんの若者らしい取組姿勢が、職場に新風を吹き込むことになるはずですよ。新人らしく、明るく積極的に物事に取り組み、多くの人との出会いを大切にして職場内で可愛がってもらい、先輩たちから多くのことを吸収してください。

次の時代の「主役」となる皆さんが、様々なことに果敢に挑戦し、「出光昭和シェル」の新しい歴史を切り拓いていくことを大いに期待して、私の歓迎とお祝いの言葉と致します。



祝辞を述べる 木藤社長



両社新入社員代表による宣誓

<参考> 2019年度新入社員数(出光興産・昭和シェル石油 計、単位:名)

大学院・大学等	高専・高校等	合計
101	80	181

以上

～ お問い合わせ先 ～

出光興産株式会社  
昭和シェル石油株式会社  
広報部広報課  
TEL: 03-3213-3115  
URL <https://www.idss.co.jp/>